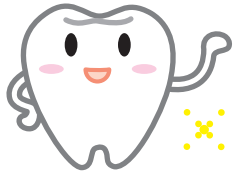


はやした歯科新聞

6
June

<http://www.hayashita.jp/>

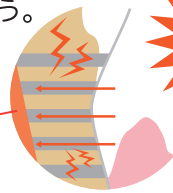
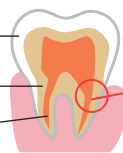


歯がしみる症状が続く場合は早めに受診を！

知覚過敏とは

知覚過敏は多くの場合、歯周病や間違った歯磨き、加齢などにより歯ぐきが下がり、歯の根っこの部分が露出することによって起こります。知覚過敏は自然に落ち着くこともありますが、症状が続く場合は他のことが原因になっている可能性もあるので一度受診しましょう。

エナメル質
象牙質
神経



ここから刺激が！

歯周病

間違った歯磨き

加齢

歯ぐきが下がり根っこの部分が露出

根っこの部分は歯質が弱く、むし歯になりやすいので、歯科医院で定期的なフッ素を塗ることをおすすめします。

歯がしみる主な原因

むし歯

むし歯はむし菌が作り出す酸が歯を溶かし進行するにつれ、その部分からしみる症状を起こします。まずは冷たいものや甘いものがしみて、だんだんと温かいものがしみるようになり治療をしなければ症状はだんだんと悪化していきます。

歯の破折

歯にヒビが入っていたり、欠けているとその部分からしみる場合があります。見た目にも欠けている場合は自分で原因もわかりやすいのですが、ヒビの場合は、歯ぐきも下がっておらず健全な歯のように見えることが多いため、しっかりと検査をする必要があります。

くさび状欠損

かみ合わせが悪かったり、歯ぎしりやくいしばりの癖があると、特定の歯に力がかかり続け、歯の根本（歯のエナメル質と象牙質の境目付近）がえぐれたように削れてしまうことがあります。これをくさび状欠損といい、歯がしみる原因になるだけでなく見た目にも影響します。さらに何年も力がかかり続けると、えぐれた部分が大きくなり歯が折れてしまうこともあります。

歯がしみる、歯ぐきの腫れや出血・・・異変を感じたら早めの受診を！”



1 歯の神経がダメになってしまう

むし歯が進むと歯の神経が炎症を起こして痛みが強くなってきます。この状態までくると、歯の神経はひどい炎症を起こしている状態なので、神経を取る必要があります。神経を取ると歯に栄養がいかなくなり、歯はいわば「死んだ状態」となります。そのため歯が残せたとしても、もろくなってしまい歯が長持ちしなくなります。

2 治療が痛くなる

歯が痛い状態というのは、神経が炎症を起こし興奮している状態です。このような状態では麻酔が効きづらく、治療そのものがかなり苦痛を伴うことがあります。

3 抜歯になってしまうことがある

むし歯が進んで歯根の周囲に膿を溜めたり、歯周病が進んで膿んだ状態になると、状況によっては抜歯をしなければならなくなります。しかし、このような状態になるまで強い痛みを出さないこともあるため、軽めの症状の時に早めに受診することが大事です。

歯を長持ちさせたいければ定期検診を！

痛みを感じたら早めに受診することは大事ですが、一番いいのは特に歯に不具合がなくても、定期的に検診とメンテナンスを受けることです。いつまでも健康な歯を保っている人はこのことを実践している人が多いものです。

早めに受診を！



一般歯科、予防歯科、口腔外科、インプラント、審美歯科、ホワイトニング

はやした歯科医院

〒854-0043 長崎県諫早市立石町2番8号

TEL&FAX: 0957-32-8181

